

このページは、小・中学生向け
梅光学院大学子ども学部子ども
未来学科(地域共生ゼミ)の学生が
作っています。

※イラスト 渡邊志帆さん、原田陽さん

しものせき キッズページ

かいきょう
「海峡ゆめタワーへ
行こう！」



▲海峡ゆめタワー
イメージキャラクター
「ゆめたん」



▲頂上球形総ガラス張りの展望室は世界初！タワーに使ったガラスは8,700枚あります。

クリスタルのようにキラキラ輝く海峡ゆめタワー。そこからは何が見えるのでしょうか。今回は、海峡ゆめタワーについて紹介します。

「海峡ゆめタワー」から歴史を見る

海峡ゆめタワーは、1996年に関門海峡の目印となるよう誕生しました。全長は153メートル、展望室がある最上階までは43メートルあり、自立型タワーの中で西日本一の高さを誇ります。

展望室からは、さまざまな表情の景色を見渡すことができます。源平合戦の場となった壇ノ浦古戦



目では、夜にキラキラ光るタワーの外観です。色が「ホワイト(月曜日)」「グリーン(火曜日)」「ブルー(水曜日)」「イエロー(木曜日)」「レッド(土曜日)」「金曜日」「ブルーグリーン(土曜日)」「レッド(日曜日)」の7色に変化し、毎日、違う色のタワーを目で楽しむことができます。

「恋人の聖地」として知られています。平成18年10月1日に県内初の「恋人の聖地」に認定されており、縁結び神社などがタワー内にあります。記念撮影コーナーでは、カメラのフラッシュをつけて写真を撮ると文字が光って浮かび上がってきますので、

光と恋人の聖地



28階では下関の歴史がパネルで紹介されており、「壇ノ浦の戦い」や「巖流島の決闘」「幕末の吉田松陰」や高杉晋作の活躍がよく分かります。

場や、宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘の場として有名な巖流島、人工島が浮かぶ響灘に、グリーンングレーの大きな関門橋。かつては戦争で焼け野原になった下関の市街地が一望できるなど、タワーから下関の歴史を感じることが出来ます。

☆海峡ゆめタワー(0231-56000) 午前9時30分〜午後9時30分 所下関市豊前田町三丁目3番1号 料大人600円、高校生以下300円 ●初日の出 1月1日(木)午前7時20分ごろ(午前6時30分開館)

海峡ゆめタワーでは、1月1日の元旦に初日の出を見ることが出来ます。初日の出は、その年の最初に昇る太陽を拝んで一年の幸運を祈るものです。門司港方面から出てくる初日の出は本当にきれいですので、ぜひ、ゆめタワーから初日の出を体験してみてください。

ご来塔さん ビリケンさん 幸運の神様として知られているビリケンさんが、1月1日〜31日まで海峡ゆめタワーにご来塔され、イベントが開催されます。皆さん、幸運の神様・ビリケンさんの足の裏を触り、御利益をもらいに来ませんか。

ぜひ撮影してみてください。ハート型南京錠にメッセージや名前を書いて掛けて置く「ラブネット・ラブロック」も人気のコーナーです。親子や友人など、大切な人との「絆」として、カギに思いを込めながら「ロック」してみませんか。



1月号の編集記者
伊藤靖予さん(後列左)、村田宏仁さん(後列中央)、久間吾省さん(前列右)



▲28階の展望室にある「縁結び神社」。神社の背景には関門橋を見ることができます！



▲関門海峡の移りゆくさまざまな表情を楽しむことができます。